NIE実践報告

1．タイトル：「新聞を読む言語活動」を通した効果的な読み方の指導

2．学校名

草津市立笠縫小学校

3．実践者名（代表者名）

西野　明日香

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科　29人

6．単元（本時の学習課題）名

書き手の意図をキャッチして新聞を読もう

7．目標(狙い)

新聞の編集の仕方や記事の書き方に目をむけ、目的に応じた効果的な読み方を考えて新聞を読み、内容や書き手の意図をとらえるこちができる。

8．評価の視点

・新聞の編集の仕方や記事の書き方に興味を持ち、新聞の良さや面白さを見つけながら読もうとしているか。
・目的に応じた効果的な読み方を考え、工夫して読もうとしているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞記事を読み比べよう」（教科書教材・東京書籍）6時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

11．児童・生徒の反応、感想・意見

12．成果と課題

・新聞を読む意欲を高め、効果的な読み方ができる力を身につけるために、親しむ・つかむ・広げるの３ステップで構成した単元の学習は有効であった。
・日常的な「新聞を読む言語活動」として行った、集める・まとめる・伝えるの三つの活動は有効であった。
・内容や書き手の意図をつかむ手立てである「いつどこハンド」・「くものすシート」は有効であった。
・本学習によって身につけた力を、教科書等の言語活動や日常生活に生かす手立てをさらに探っていく必要がある。